

安全データシート

1. 製品及び会社情報

製品名 : アルウエッティ除菌クロス
アルウエッティ除菌クロスワイド
アルウエッティ除菌クロスワイドS
アルウエッティ除菌クロスピロータイプ
会社名 : オオサキメディカル株式会社
住所 : 〒452-0812
愛知県名古屋市区西玉池町 203 番地
電話番号 : 0120-15-0039

2. 危険有害性の要約

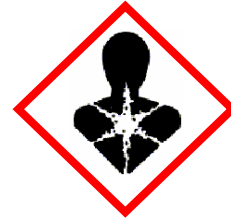
GHS 分類

物理化学的危険性 : 可燃性固体

[含浸液]

健康に対する有害性	急性毒性（経口）	: 区分外
	急性毒性（経皮）	: 区分外
	皮膚腐食性／皮膚刺激性	: 区分外
	眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性	: 区分 2B
	呼吸感作性	: 分類できない
	皮膚感作性	: 分類できない
	生殖細胞変異原性	: 分類できない
	発がん性	: 分類できない
	生殖毒性	: 区分 1A
	特定標的臓器毒性（単回ばく露）	: 区分 3(気道刺激性、麻酔作用)
	特定標的臓器毒性（反復ばく露）	: 区分 1(肝臓) 区分 2(中枢神経系)
	誤えん有害性	: 分類できない
	環境に対する有害性	水生環境急性有害性
水生環境慢性有害性		: 区分外
オゾン層への有害性		: 分類できない

絵表示 :



注意喚起 : 危険

危険有害性情報 : 可燃性固体
強い眼刺激
生殖能または胎児への悪影響のおそれ
呼吸器への刺激のおそれ
眠気又はめまいのおそれ
長期にわたる、又は反復ばく露による臓器(肝臓)の障害
長期にわたる、又は反復ばく露による臓器(中枢神経系)の障害のおそれ

注意書き :

- 安全対策 すべての安全注意をよく読み理解するまで取り扱わないこと。
この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。
熱、高温のもの、火花、裸火および他の着火源から遠ざけること。(禁煙)
容器を接地しアースをとること。
保護手袋、保護眼鏡を着用すること。
屋外または換気のよいところでのみ使用すること。
取扱い後はよく手を洗うこと。
ガス、ミスト、蒸気の吸入をしないこと。
- 応急措置 火災の場合：消火のために大量の水噴霧、又はアルコール用の消火器を使用すること。
眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
眼の刺激が続く場合：医師の診察／手当てを受けること。
ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師の診察／手当てを受けること。
吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
気分が悪い時は医師に連絡すること。
- 保管 換気の良い場所で保管すること。涼しいところに置くこと。
- 廃棄 内容物、容器は法に沿った処理をすること。

3. 組成、成分情報

単一製品・混合物の区分 : 混合物

化学名	含有量	官報公示整理番号	CAS No.
エチルアルコール(エタノール)	76.9～81.4 vol%	(2)-202	64-17-5
水(精製水)	適量	—	7732-18-5

不織布

化学名	含有量	官報公示整理番号	CAS No.
セルロース	非公開	—	68442-85-3 9004-34-6
ポリエチレンテレフタレート	非公開	—	25038-59-9
共重合ポリエステル	非公開	—	—
酸化チタン(IV)	非公開	—	13463-67-7

4. 応急処置

- 吸入した場合 : 蒸気を吸入した場合は、空気の新鮮な場所に移動させる。気分が悪い時は医師に連絡をすること。
- 皮膚に付着した場合 : 皮膚に刺激が生じた場合、清浄な水と石鹸で洗浄し、必要に応じて医師の診断/手当てを受ける。
- 目に入った場合 : 含浸液が目に入った場合は、直ちに清浄な水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。必要に応じて医師の診断/手当てを受ける。
- 飲み込んだ場合 : 含浸液を飲み込んだ場合は、水でよく口の中を洗浄した後、コップ数杯の清水を飲ませ希釈し、可能であれば吐き出させ、直ちに医師の手当てを受ける。ただし、意識がない場合は、口から何も与えてはならない。また、吐かせようとしてはならない。直ちに医師の手当てを受ける。

5. 火災時の措置

- 消火剤 : 水、粉末、泡（耐アルコール泡）、二酸化炭素
- 使ってはならない消火剤 : 棒状注水
- 消火方法 : 初期の火災には大量の水噴霧、又は粉末、炭酸ガス等の消火器による消火を行う。
大規模火災には、泡（耐アルコール泡）消火剤を用いて空気を遮断する。
水は消火に有効であるが、熔融した状態で直接かけると、飛散し、

- 火災が広がる恐れがある。
- 消火を行う者の保護 : 消火作業の際は、適切な空気呼吸器、化学保護衣を着用し、可能な限り風上から行う。
火災発生場所の周囲に関係者以外の立ち入りを禁止する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時処置

- : 密閉された室内の場合、処置が終るまで、十分換気する。

環境に対する注意事項

- : 大量の製品が河川等に排出され、環境への影響を起こさないように注意する。

封じ込め及び浄化の方法・機材

- : 空容器に回収する。

二次災害の防止策

- : 付近の着火源となるものを取り除く。
火花を発生しない安全な用具を使用する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策

局所排気・全体換気

- : 取扱いは換気の良い場所で行う。

安全取扱い注意事項

- : 除菌とは、対象表面の菌を減少させることをいい、全ての菌を除去するわけではありません。

高濃度のエタノールを含有するため、火気の近く及び静電気の影響の強い場所での使用・保管・廃棄はしないでください。

<使用上の注意>

塗装・印刷面や白木に使用すると変色・変質する恐れがあるため、目立たない所で確認してから使用してください。

スチロール製品や革製品には使用しないでください。

顔や粘膜、傷口、乳幼児には使用しないでください。

目に入った場合はすぐに水で洗い流してください。

アルコール過敏症や皮膚の弱い方が使用される場合、及び長時間使用の際は肌荒れなどに注意してください。

水に溶けないため、トイレには流さないでください。

衛生的に使用するため、つめかえは容器の中の汚れを拭き取り、乾燥させてから清潔に行ってください。

皮膚などに異常が見られる場合は、直ちに使用を中止し、医師又は薬剤師に相談してください。

保管

保管条件

- : アルコールの蒸発を避けるため、つめかえの際は専用容器を利用してください。

乾燥を防ぐため、使用後はキャップをきちんと閉めてください。
高温・多湿や直射日光の当たる場所を避け、乳幼児の手の届かない所に保管し、開封後はなるべく早く使用してください。

容器包装材料 : 記載すべき情報がありません。

8. ばく露防止及び保護措置

管理濃度 : (製品データ) 設定されていない。

成分データ : (成分データ) 設定されていない。

設備対策 : 通常の実験では必要なし。

保護具

呼吸器の保護具 : 通常の実験では必要なし。

手の保護具 : 状況に応じて保護手袋を使用する。

目の保護具 : 人体には使用しない。

皮膚及び身体への保護具 : 人体には使用しない。

9. 物理的及び化学的性質

外観、物理的状态

形状、色など : 固体、透明液体含浸不織布 (白色)

におい : 原料臭(アルコール臭)

pH : 該当せず

引火点 : データなし

発火点 : データなし

比重 : 0.860~0.873 (15℃ : 含浸液)

水に対する溶解性 : 含浸液は可溶

10. 安定性及び反応性

安定性 : 通常の実験条件においては安定で危険性はない。

危険有害性反応の可能性 : 成分中エタノールについては、硝酸、硝酸銀、硝酸水銀、過塩素酸マグネシウムなどの強酸化剤と激しく反応し、火災や爆発の危険をもたらす。

避けるべき条件 : 火気、高温へのばく露

混触危険物質 : 強酸化剤、次亜塩素酸カルシウム、アンモニア

危険有害分解生成物 : 不完全燃焼時に一酸化炭素、二酸化炭素が生じる。

1 1. 有害性情報

- 急性毒性（経口）：（製品データ）データなし 毒性推定計算値より区分外
（経皮）：（製品データ）データなし 毒性推定計算値より区分外
皮膚腐食性／皮膚刺激性：（製品データ）データなし
混合物の各成分の合計による分類より 区分外
眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性
：（製品データ）データなし
混合物の各成分の合計による分類より 区分 2B
呼吸器感作性：（製品データ）データなし
皮膚感作性：（製品データ）データなし
生殖細胞変異原性：（製品データ）データなし
発がん性：（製品データ）データなし
生殖毒性：（製品データ）データなし
混合物の各成分の合計による分類より 区分 1A
特定標的臓器毒性（単回ばく露）：（製品データ）データなし
混合物の各成分の合計による分類より
区分 3(気道刺激性、麻酔作用)
特定標的臓器毒性（反復ばく露）：（製品データ）データなし
混合物の各成分の合計による分類より
区分 1(肝臓)、区分 2(中枢神経系)
誤えん有害性：（製品データ）データなし

1 2. 環境影響情報

- 水生環境急性有害性：（製品データ）データなし
水生環境慢性有害性：（製品データ）データなし
オゾン層への有害性：（製品データ）データなし
残留性／分解性：（製品データ）データなし
生体蓄積性：（製品データ）データなし
土壌中の移動性：（製品データ）データなし
他の有害影響：（製品データ）データなし

1 3. 廃棄上の注意

- 残余廃棄物：内容物の廃棄は、焼却炉で焼却処理するか、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に委託処理する。
汚染容器及び包装：空容器を廃棄するときは、内容物を処理した後処分する。

1 4. 輸送上の注意

- 国連番号 : UN3175 固体 (引火性を有する液体を含むもの)
(他に品名が明示されているものを除く。)
- 国連分類 : クラス 4.1 (可燃性固体)
- 国内規制
輸送の特定の安全対策及び条件
直射日光を避ける。高温体との接触を避ける。

1 5. 適用法令 (製品)

- 労働安全衛生法 : 施行令 別表第 9 名称等を通知すべき危険物及び有害物
(エタノール、酸化チタン(IV))
施行令 第 18 条 名称等を表示すべき危険物及び有害物
(エタノール、酸化チタン(IV))
- 消防法 : 非該当
- 化学物質管理促進法 : 非該当
- 毒物及び劇物取締法 : 非該当
- 港則法 : 規則第 12 条 危険物告示別表 2 号 ハ
危険物船舶運送
及び貯蔵規則 : 第 2 条第 1 号 ニ (1) 可燃性物質
告示別表第 1 固体 (引火性を有する液体を含むもの)
(他に品名が明示されているものを除く。)
- 航空法 : 規則第 194 条 4 イ 可燃性物質
告示別表第 1 固体 (引火性を有する液体を含むもの)
(他に品名が明示されているものを除く。)

取扱い及び保管上の注意の項の記載による他、消防法危険物の第 1 類、第 6 類と混載しない。

1 6. その他の情報

本安全データシート (SDS) は、現時点で入手できる最新の資料、データに基づいて作成しており、新しい知見により改訂されることがあります。また SDS 中の注意事項は通常の実施を対象としたものです。

本製品を推奨用途以外に使用したい場合は、使用が用途に合致しない場合もありますので事前に弊社に相談してください。

また、SDS 記載内容について十分注意を払っておりますが、その内容を保証するものではありません。